

2021年1月20日

関係者各位

関西学生陸上競技連盟  
会長 津野 洋  
ヘッドコーチ 渋谷 俊浩  
幹事長 山口佳那子

## 第2回関西学生ハーフマラソン選手権大会中止および 日本学生ハーフマラソン選手権大会記録挑戦会実施について(お知らせ)

1月31日(日)に開催予定の標記大会ですが、大会要項を掲載しエントリーを受け付けた以降に緊急事態宣言が再び大阪府に発出されました。開催の可否について、第2回関西学生ハーフマラソン選手権を支援していただいている産経新聞社(主催者)と情報交換を行いながら数度にわたり調整をして参りました。

協議の結果、以下のような理由によりハーフマラソン選手権を中止し、3月に開催される男女の日本学生ハーフマラソン選手権への出場を目指している選手のためにヤンマーフィールド長居にて出場資格要件となる種目の記録挑戦会を行うことにいたしました。

- (1) 緊急事態宣言下で大学のガイドラインにより出場できない選手が約3分の1おり、選手権としての意味合いを無くしている。
  - (2) 大阪女子マラソンではPCR検査を義務づけており、ハーフマラソン選手権を開催するには同様の措置を講じて開催しないと危機管理上問題がある。
  - (3) 連盟でPCR検査を義務づけての出場に関する調査を行った結果、費用負担の問題で参加できない大学も出てきており、不公平感がいなめない。また、学生審判・補助員も予定通り集めることができない状況であり大会運営が出来ない。
  - (4) 1月31日(日)午前中に開催予定であったが、緊急事態宣言が発出され、大阪女子マラソンの準備の都合上、本連盟の大会は30日(土)に日程をスライドして実施することで調整を図った。しかしながら、2日間長居周回を使用することによる近隣住民感情を考慮し、東京五輪のために開催する大阪女子マラソンに支障をきたすようなトラブルを回避することは、大阪ハーフマラソンが中止になっても本連盟独自の大会を行うことを支援してもらっている主催者への配慮も本連盟の今後の大会運営上必要との判断に至った。
- 注) 今回の大会については、競技場、長居周回コースの使用については、主催者が申請して許可を得ており、本連盟は借用許可を取っていない状況にある。

本連盟が主催する大会は様々な関係者の支援がないと開催できません。再び、緊急事態宣言が発出され、参加大学の関係者の皆さまには混乱をきたす状況を招いておりますが、上記の主旨をご理解頂き、ご協力をお願いいたします。

なお、記録挑戦会の内容につきましては別途大会要項に記載しています。開催まで期日がありませんので、参加大学の皆さんにはお手数をおかけしますが、至急内容を確認のうえ、期日までに手続きをお願いします。尚、記録挑戦会にはハーフマラソンにエントリーしていた選手以外の出場はできませんので注意してください。